

## 卒業式式辞

中学校での最後の授業となりました。

今日の話のテーマは「言葉と人生」です。

80名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。よく頑張った3年間でした。

保護者の皆さま、お子さまのご卒業おめでとうございます。また、本校の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、高段からではありますが、厚くお礼申し上げます。

ご来賓の皆さまにおかれましては、お忙しい中、ご列席を賜り、誠にありがとうございます。地域に開かれた学校、地域に根ざした学校経営の実現のために、ご支援を賜っていることに深く感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。私は、君たちと一緒にこの学校の門をたたきました。そして、3年間ともに過ごしました。その印象を言います。

「いつも温かい空気が流れる教室、人のぬくもりを感じる学年」でした。

そして、「大東中学校の校風を引き継ぎ進化させた学年」でした。

振り返ってみれば、君たちは昼休みに校長室へよく遊びに来てくれました。たわいもない話をしましたが、そこには、いつも穏やかな空気が流れていました。

「今度の練習試合、頑張るので見に来てください」とよく誘ってくれました。

また、授業を見に行くと、「頑張ってるで」と無言で、私の手を握る人もいました。

気が付けば、私は君たちの応援団になっていました。

そしていつの間にか、君たちは君たち同士を応援し合いながら、支え合う学年に成長していきました。「受験は団体競技」という意識で、最後の冬も、支え合い乗り切っていました。

「応援力」。それは、応援をしてもらえる人柄。プラス仲間を応援する力です。

君たちは応援力の高い学年でした。多くの人の応援を受け、また、お互いを応援し合い、今、ここにあります。これからも、仲間を心から応援し、また、自分自身も周りの人から心から応援してもらえる人でいてください。そして、その人を裏切らないことです。感謝にまさる能力はありません。

二つ目です。

本校の生徒会活動の伝統を考えたときに、そのキーワードは「改革の精神」です。伝統を受け継ぎながら、更にアップデートしていくのが大東中学校生徒会の強みです。君たちは、前年度のいじめバスターズ宣言の改正を受けて、更にネットやSNSの問題を深く考えました。また、体育大会では全校生徒が楽しめる競技、文化祭でも新しい企画を考え、全校を一つにまとめ、笑いと感動のある行事を作りました。

小さな思いを言葉にし、高い表現力で訴えた文化祭の「未成年の主張」は、大東中学校の校風をよりよいものにしました。昨日行われた3年生を送る会では、在校生が君たちの成果と思いを引き継いでくれたことが実感でき、うれしく思います。

3年間、自分を変え、学校を変えていったように、いつまでも自分自身をアップデートし、社会に貢献できる人になってくれることを願います。

君たちの強みである「応援力」と「改革の精神」を振り返りながら、最後に大東中学校の話をさせていただきます。

あなたが通った大東中学校は、まもなく創立80周年を迎えます。大東中学校は80年にわたり、約9300名の先輩の力により進化・発展してきました。

いつの時代も、その基盤にあったものは、校訓『自然に学ぶ』という言葉です。『自然に学ぶ』という校訓は、大東中学校の基本理念であり、指針であります。時には校門の石碑に

刻まれた言葉に立ち止まって考えた先輩もいたことでしょう。

是非とも、あなたも『自然に学ぶ』のような、自分自身の生きる指針をもって人生を歩んでください。

「しんどい時こそ諦めない」

「私は私」

「今を生きろ」

「失敗をすることを恐れてはいけない 失敗は学びの一部だ」

「小さな希望も迷わず信じてほしい」

「人を信じよ、しかしその百倍自分を信じよ」

「努力は人を裏切らない」

「1%でいい昨日の自分を越えてみせろ」

気が付きましたか？

君たちが卒業前に製作したスタンドガラスにこめた言葉です。

考えてみれば、あなたの周りにはいつも素晴らしい言葉があふれていました。

ある先生は言いました。「為せば成る」と。まずは行動することから始めていきましょう。

また、ある先生は言いました。「いつも心に太陽を」と。太陽のような光と情熱をもって行動することが大切です。

ある先生は言いました。「明日やろうはバカ野郎」と。やるべきことを明日にのばすのではなく、今やるのです。今、ここを大事にするのです。

ある先生はよく言いました。「健康第一」と。これからも自分の体と心と対話しながら自分を大切にしていってください。

ある先生はこの言葉を言い続けました。「楽しむことが成功への一番の近道」と。ピンチの時ほど楽しむ気持ちが持てれば、自分の限界を超えていくことができるでしょう。

これからもきっと、あなたは温かい人と素敵な言葉に囲まれることでしょう。

私も贈りたいと思います。

「人生は人との出会いで決まる 意味のない出会いはない」というものです。

「人は出会うべき時に会うべき人に出会う」と私は思います。その縁がさらにより縁に発展していき、良い結果に恵まれることも人生の不思議なところであり、人生の妙です。

私はあなたたちと出会えたことに感謝します。

あなたが、これから活躍するステージは無限に広がります。これからも自分の強みを伸ばしに伸ばしてください。好きなことに徹底して向き合ってください。興味のあることにはまずはチャレンジしてください。そんなあなたをいつまでも応援したいと思います。

そんなあなたの前に、道はいつもひらかれています。

そのためにも、今日の晴れ上がった空のように高々とした心を持ち続けてください。

人生はたった一度の片道切符の旅です。これから始まる自立に向けた旅で、自分自身を精一杯輝かせてくれることを、また、新しい舞台で大東中学校での学びを土台に更に成長してくれることを、そして人生という旅の途中で幸多からんことを祈念し、式辞とします。

令和8年3月6日

米原市立大東中学校 校長 河地 誠